



便秘で困っていませんか？

あたたかな心のふれあい heart-warming

便秘(排便障害)専門外来について

〔記事提供〕 交雄会グループ医療法人愛生会病院 理事長 三井慎也

- ・日本消化器病学会専門医
- ・日本消化管学会胃腸科認定医
- ・日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- ・日本内科学会認定医
- ・日本ヘリコクター学会 *H. pylori* (ピロリ菌) 感染症認定医

当院では、6月より便秘(排便障害)外来を開設しました。便秘や下痢など排便のことでお悩みの方を対象に専門医による診断、治療で改善を目指します。専門医の指示のもと必要な検査を行い診断後に理学療法士による便秘リハビリ、薬剤師による服薬指導、管理栄養士による食事指導の3本柱で排便障害にアプローチを行います。

便秘の種類

便秘には大きく分けて2つの種類があり、1つは「器質的便秘」といい、腫瘍(癌等)や炎症、それに伴う癒着などの器質的な病変によって通過が障害されて起こるものをいいます。もう1つは「機能性便秘」といい、自律神経、消化管ホルモン等の影響で結腸の有効な運動が低下し内容物の輸送が十分に行われないために起こるものをいいます。当院では、最初に行う検査でどのタイプの便秘かを判断し、機能性便秘に対してアプローチを行います。もし、検査の結果、腫瘍等による器質性便秘と診断されれば専門の医療機関の紹介を行います。

当院の3本柱

当院での排便障害改善の3本柱について説明していきたいと思えます。管理栄養士による栄養指導では食事記録をつけていただき、それを基に的確な食事改善を行い排便の改善を目指します。食生活の改善だけではなく、排便をコントロールするためには下剤を使用する場合もあります。その際は薬剤師による適切な漢方薬や下剤の服薬方法などの指導を行い、一人ひとりに合った下剤の使用を目指します。

また、働きの悪くなった腸に対して、理学療法士による便秘リハビリを行います。これらの3本柱に加え、定期的に排便の状態、患者さまの排便に対する満足度を用いて評価を行っていきます。

一緒に改善を目指す

当院では、患者さまに便秘手帳を配布しており、患者さま自身に記載していただいています。これは、当院スタッフだけが患者さまの排便改善に取り組むわけではなく、患者さま自ら便秘手帳に日々の食事内容や排便回数などを記載していただく事で一緒に

ラブ 愛・レター

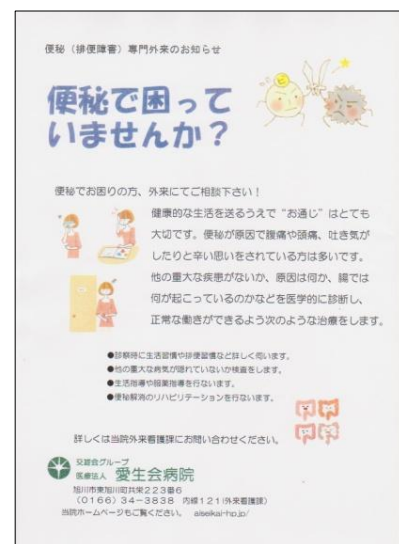
医療・介護・保健の月刊ニュースレター
愛生会病院だより

文責：
患者サービス向上広報委員会 委員長 斉藤浩之

37号

2014年8月

便秘専門外来パンフレット



に排便障害改善に取り組んでいただきたいとの想いがあります。

患者さま自身も一緒に取り組む気持ちが一番の特効薬だと思っております。ぜひ、一緒に取り組みましょう。

快便への扉

排便障害で困っているとはなかなか恥ずかしくて他人に相談しにくい事です。しかし、もしお困りなら、ちょっとした疑問でも構いません。当院の外来看護師に相談してみてください。詳しく説明いたします。一緒に快便への扉を開きましょう！

新入職員の紹介

今回新しく入职されたリハビリ課、病棟介護課スタッフを紹介します。

Q1.職場の印象はどのような印象ですか？

- ・病室や廊下をはじめ、清潔感があり綺麗だと感じました。また、明るい職員が多く、なじみやすい職場だと思いました。(尾崎)
- ・働き出したときは、慣れないことばかりでした。しかし、そんな自分を気遣ってくれて優しく声をかけて下さる先輩方がおり、プリセプターの方も親切、丁寧に教えて下さり、働きやすい環境だと思いました。(関根)

Q2.新しい発見はありましたか？

- ・リハビリ課主任の下野先生は経験も豊富で考え方など日々新しい発見ばかりで勉強になります。(尾崎)
- ・以前は老人保健施設で勤務していましたが、「勉強会」というものがあまり行われませんでした。愛生会病院では、色々な「勉強会」が行われ、とても勉強になり、役立ちます。(関根)

Q3.患者さまに対する心構えは？

- ・患者さまに対して、誠意を持ったリハビリを提供したいと思います。(尾崎)
- ・いたわりや思いやりの心を持って、笑顔で患者さまやご家族さまと接するように心がけています。(関根)

Q4.最後に一言！

- ・4月入社し、まだまだ慣れないことばかりですが、日々努力して頑張りたいと思います。(尾崎)
- ・勤務してから3か月が経ちました。まだ戸惑うことや未熟なところがありますが、スタッフの皆さんとコミュニケーションをとりながら、明るく元気に務めさせていただきたいと思っています。(関根)



あたたかな心のふれあい
HEART-WARMING



〒078-8340

旭川市東旭川町共栄 223 番 6

Tel 0166-34-3838

Fax 0166-34-2867

ホームページ www.aiseikai-hp.jp

リハビリ実習生の紹介

5月末より8週間、札幌医療リハビリテーション専門学校より実習生が来ました。実習を終えて、アンケートに答えていただきました。

Q1.将来理学療法士になりたい理由は？

きっかけは、昔から可愛がってくれていた祖母の不自由な腕をどうにかしてあげたいと思った事で、今はリハビリという観点から少しでも患者さまの生活を豊かにする手助けができればと思い、理学療法士(PT)を目指しています！

Q2.今回の実習で一番印象に残ったこと、勉強になったこと

指導者である下野先生につかせていただいて、とてもエンターテイナーな先生だと感じました。いつでも患者さまと楽しそうにし、とても自由で型にはまらない雰囲気相手をリラックスさせてくれるのだなと思い、自分もそんなPTになりたいなと思っています。また、



写真 1.リハビリ実習中

患者さまへの触り方、移乗の仕方、関節の動かし方や人生観など様々な事を教えていただき、とても勉強になりました。

Q3.最後に一言！

お世話になった愛生会病院のスタッフの皆さまや患者さまの方々がとても心優しく、様々な貴重な体験をさせていただきました。8週間、充実した実習を過ごさせていただき、ありがとうございます！